

平成26年度全国学力学習状況調査の結果について

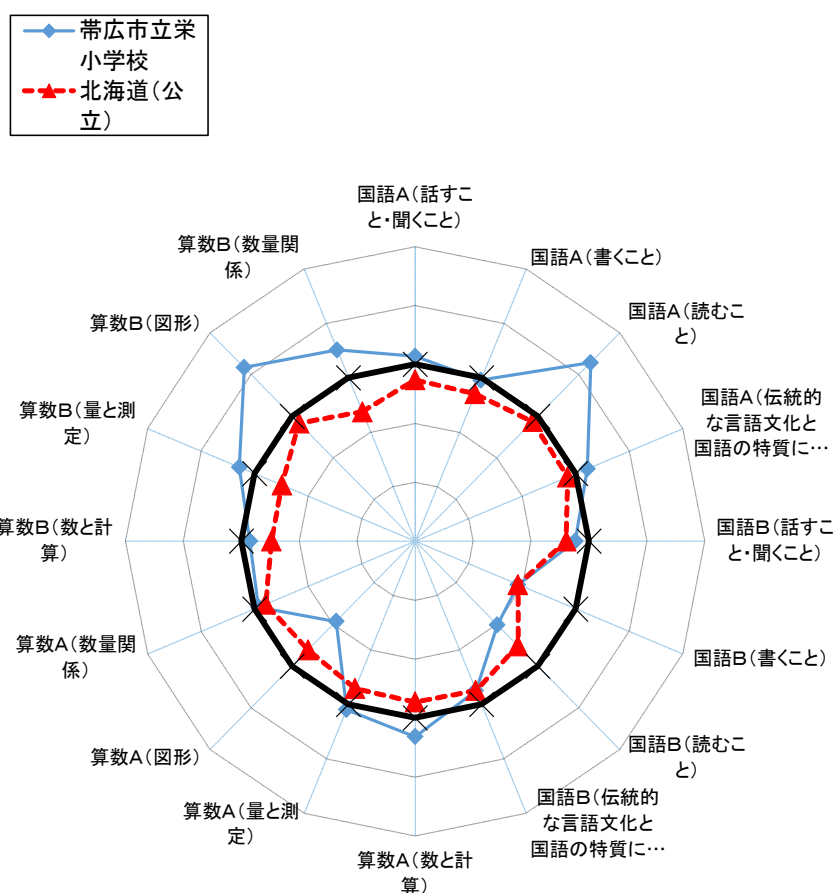
【調査目的】

全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各領域における児童の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。

※本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校教育の全てについてはありません。

【調査結果】

帯広市立栄小学校の教科全体



■ 教科について

＜国語A 基礎知識＞

- ・ほぼ全ての観点で全国を上回っている。
- ・「書くこと」「書く能力」については、ほぼ全国平均といえる。
- ・「読むこと」「読む能力」の正答率が高い。

＜国語B 活用＞

- ・ほぼ全ての観点で全国を下回り、全道とほぼ同等の正答率となった。
- ・「話すこと、聞くこと」「話す、聞く能力」が高く、「書く能力」「記述能力」に課題が見られた。

＜算数A 基礎知識＞

- ・ほぼ全観点で全国と同じ結果となった。
- ・全国と比べると「図形」がやや低く、「数と計算」がやや高い結果になった。

＜算数B 活用＞

- ・全観点で全道の平均を上回っているが、一部の観点で全国を下回っている。
- ・「図形」「数量や図形についての知識理解」「数量関係」「選択式」は全国平均を大きく上回っている。
- ・「数学的な考え方」「記述式」の正答率が全国に比べ低く、全道平均よりは高い結果になった。

■ 児童質問紙調査

＜国語の学習＞

- ・国語の勉強が好きな児童が全国に比べて多い。読書が好きな児童も同様に上回っている。
- ・国語の授業で目的に応じた資料を読み、自分の考え方を話したり、書いたりすることが苦手である。
- ・国語の発表で自分の考えが、うまく伝わるように話の組み立てを工夫することが不十分である。
- ・目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりすることが苦手な児童が多かった。

＜算数の学習＞

- ・算数の授業で新しい問題を解いてみたいという意欲的な児童が多い。
- ・解き方が分からないときにあきらめてしまう傾向が強い。
- ・問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くことが苦手な児童が多い。

＜基本的な生活習慣＞

- ・テレビの視聴時間やゲームの使用時間が長い傾向が明らかになった。
- ・家庭での学習習慣が身につけている割合が全国を下回っている。

(学校便り「栄」第17号 平成26年9月30日発行より一部抜粋)

以上を受けて、下記のように学校改善プランを計画しました。

I 目標

「平成27年度全国学力学習状況調査」で第6学年児童が全国平均を上回るように、1～6年までの各学年に応じた確かな学力の育成を図る。

＜数値目標＞

- ・平成27年度全国学力・学習状況調査において、全国平均点を上回る。
- ・国語科の「書くこと」の正答率を10ポイント以上上げる。
- ・算数科のA問題の正答率を80%以上にする。
- ・算数科のB問題における記述問題の正答率を10ポイント上げ、全体として全道平均を上回る。
- ・3, 5年のCRT学力検査で全国平均を上回る。
- ・チャレンジテストで全学年が常に全道平均以上の定着率を保つ。

Ⅱ 具体的な改善策

1 授業改善

- 校内研究を核にして（算数科を中心として）
 - ・算数の学び方を実践する（研究部から提示）
学習の流れに慣れる
 - ・学級間，ブロック間の連携，相談
- 日々の授業改善
 - ・時間を守ることで生活のリズムを！
 - ・学習の約束の徹底
 - ・終末での定着問題（導入－展開－終末）
 - ・分かる授業を！
 - 分からない子への対応
 - 教科書の音読
 - 実物投影機の活用
 - 繰り返し指導による学習内容の定着（前学年にさかのぼった指導も）
 - ・板書の構成
- 朝学習の強化（朝学習指導日の設定，児童が自習時に自立した行動をとれるように！）
- チャレンジテストの活用と分析（記述問題対策）
- 全国学力学習状況調査の過去問題の利用（記述問題対策）
- 少人数指導（習熟度指導）の効果的な活用（記述問題対策）
- 教育課程の見直し

2 家庭との連携

- 「家庭学習のてびき」の見直し
- 「学校だより」による定期的な呼びかけ
 - ・当たり前のことを当たり前
 - ・良い生活習慣を
- 家庭学習，読書の習慣化
- 宿題の学校としての取組の統一
 - ・勉強の仕方が分からない子へは個別指導を
- 長期休業中の宿題・連携→評価との一体化
- 家庭の意識改革への働きかけ（生活リズムの確立）
 - ・ゲーム，テレビの時間を少しでも減らす
 - ノーテレビデーの取組（PTAとの連携）
 - 生活リズムチェックシートの活用

3 学習規律の徹底

- 栄小スタンダードの確立
 - ・学習の約束，問題解決的な学習過程，板書の在り方，ノート指導，発表の仕方・聞き方，机上の整理の仕方，家庭学習の指導，最低学力を保障する日常の取組
- 学年の発達段階に応じた学習規律を学校として作成及び「学習規律」の掲示
- 共通理解にたった指導